

回路設計でお困りではないですか？

近年、製品の高性能化に伴い、回路の部品点数や配線が増加し、基板サイズの拡大や部品コストの増大が課題となっています。「回路上の部品数を減らしたい」「マイコンの資源不足を別ICで補いたい」「回路全体の消費電力を低減したい」— そんなお悩みをお持ちではありませんか？そのようなお困りごとには、プログラマブル・デジアナ混載IC(GreenPAK)の導入で解決できるかもしれません。

本ウェビナでは、「GreenPAK」の基礎知識と、実際の置き換え事例や、開発ツールの使い方をご紹介します。

近年の設計ニーズと課題

近年、製品の高機能化や筐体の小型化がニーズとなっています。このニーズを実現する為、部品点数の増加と実装面積の縮小が課題となり、回路はますます複雑化傾向にあります。その為、部品を集約し、増加を防ぐ手段があれば、この課題を解決できるかもしれません。今、デジタル/アナログ要素を混載するICが求められています。

GreenPAKの特徴とラインナップ

ルネサスエレクトロニクスの「GreenPAK」は超小型、超短納期で開発が可能なプログラマブル・デジタル/アナログ混載ICです。ディスクリート部品の集積化や、ユーザ独自の仕様の実現に様々なメリットを提供します。汎用ロジックをベースとしたラインナップ以外に、高耐圧端子を搭載した「HVPAK」、アナログ機能を強化した「AnalogPAK」、車載グレード対応品等もあります。

GreenPAKを活用するメリット

- ①集積化と差別化
- ②PCB実装面積縮小
- ③消費電力低減
- ④必要なデザイン仕様への適応
- ⑤製品化までの時間を短縮
- ⑥セキュリティ対応

採用事例

- ・監視回路による電圧監視
- ・制御回路への応用
- (シーケンス回路やシステムリセット機能、LEDやモータ制御)
- ・その他：アナログ回路、検知回路、IOエクスパンダ etc

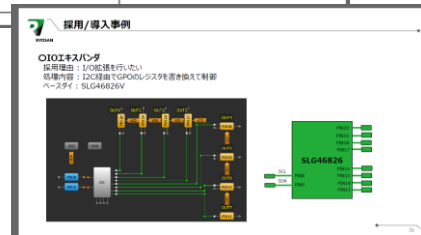
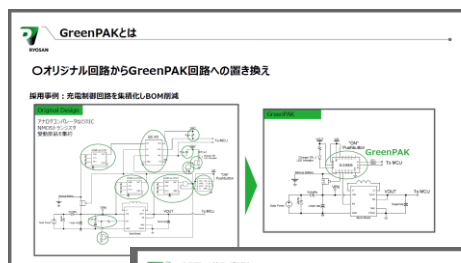
GUIツールを使用して簡単にカスタム設計

「Go Configure Software Hub」を用いて製品の選択からデジタル/アナログ回路の設計、波形のシミュレーションが可能です。ウェビナではツールの操作方法や、マクロ機能を解説しました。ルネサスエレクトロニクスの商品ページから無料で入手可能です。お気軽にお試しください。

■ 本日の登壇者 ■



株式会社リョーサン
デバイス第一事業本部
技術支援部 第一課
吉田 昂樹



GreenPAKの採用/導入事例



Go Configure Software Hub

[他記事、ウェビナ情報はこちら](#)



エンジニアによりそうマガジンサイト